

令和7年度日本気象学会東北支部気象研究会・仙台管区気象台東北地方調査研究会 合同発表会 次第

日時：令和7年12月16日（火）11時00分～17時05分
仙台第3合同庁舎 2階大会議室（発表会場） オンライン配信あり

I 開 会	地域防災推進課長	開始予定	11:00
II 挨拶	仙台管区気象台長		
III 連絡事項	地域防災推進課 調査官		
IV 研究発表			

発表持ち時間は1題14分です。時間を厳守願います。
第1予鈴が、10分で鳴ります。まどめに入ってください。
第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。
終鈴が、14分で鳴ります。質疑応答は終了です。
※発表の際は、最初に調査の概要についてお話しください。

1日目 令和7年12月16日（火）

座長：阿部予報課長

	発表者所属	☆：発 表 者	発表予定時間
1 予想雨量による土壌雨量指数推定手法の改良	仙台管区気象台予報課	☆小笹純輝,氏家健太郎	11:10～11:55
2 2023年,2024年の三陸沖海洋熱波と地上の下層雲	仙台管区気象台観測整備課	奥田唯人	
3 2025年2月26日に大船渡市で発生した大規模林野火災の延焼拡大に及ぼした風の影響について（その1、その2）	盛岡地方気象台	☆山川大希,橋本大輝,藤代なつみ,小田島秀明	

【休 憩】

11:55～13:00

座長：東北大学 山崎教授

	発表者所属	☆：発 表 者	発表予定時間
4 2024年12月17日の秋田県沿岸における大雪の事例解析	秋田地方気象台	☆正垣宏洋,中村修二	13:05～14:05
5 青森市に大雪をもたらす東西にのびる降雪域の形成要因	仙台管区気象台予報課	岩場遊	
6 寒気質量を用いた2024/2025冬季の津軽地方の大雪の解明	弘前大学理工学部	☆富部大樹,谷田貝亜紀代	
7 青森県八甲田代平における冷氣形成	弘前大学大学院理工学研究科	☆江渕竜介,石田祐宣	

【休 憩】

14:05～14:20

座長：東北大学 伊藤准教授

	発表者所属	☆：発 表 者	発表予定時間
8 梅雨期における線状降水システムの抽出と分類手法の開発および発生環境条件の解析	茨城大学理工学研究科	☆田中颯,若月泰孝	14:20～15:35
9 バックビルディング型線状降水システムの自己組織化形成－鉛直シアに関する感度数値実験－	茨城大学理工学研究科	☆佐藤末笛,若月泰孝	
10 東北地方における線状降水帯の抽出基準の検討と環境場の調査	東北大学理学研究科	☆熊谷真琴,伊藤純至,廣川康隆（気象研）	
11 2024年8月27日の岩手県内陸の線状降水帯による大雨事例-事例解析-	盛岡地方気象台	☆卯碁遥愛,山本健太	
12 2019年10月に発生した台風19号に伴う岩手県沿岸の多降水域の発生とJMA/NHMによる再現性の検討	弘前大学大学院理工学研究科	☆藤原凜, 谷田貝亜紀代, 宮坂貴文（東京大学）,中村尚（東京大学）	

【休 憩】

15:35～15:50

座長：阿部予報課長

	発表者所属	☆：発 表 者	発表予定時間
13 2024年7月25日の山形県大雨事例におけるメソ・局地アンサンブルを活用した最適シナリオ選択	山形地方気象台	☆佐藤浩生,松永崇(仙台),小野耕介(気象研)	15:50～17:05
14 2024年2月27日の岩手県大雪事例に対するMEPSを活用したサブシナリオ構築の検討 Part 1 ―事例の概要および気圧の谷に着目した解析―	仙台管区気象台予報課	☆菅原海大,高橋香衣,小野耕介(気象研)	
15 2024年2月27日の岩手県大雪事例に対するMEPSを活用したサブシナリオ構築の検討Part 2 一段階的なシナリオ構築手法の提案―	仙台管区気象台予報課	☆菅原海大,高橋香衣,小野耕介(気象研)	
16 MEPSにおける前線と降水の走向の関係	福島地方気象台	☆渡邊拓夢,中川功一郎(仙台),小野耕介(気象研)	
17 領域アンサンブル予測システムを用いた土砂災害危険度予測モデルの開発	東北大学理学研究科	☆長村航聖,山崎剛,福井真（気象研）	